

平成25年度決算について

平成 26 年 5 月 9 日
九州旅客鉄道株式会社

1. 連結決算

(1) 経営成績

- ・ 4期連続の増収。全ての利益で増益。

(単位:億円)

	期 末 決 算				記 事
	H24年度	H25年度	増 減	前年度比	
営 業 収 益	3,428	3,548	119	103.5%	4期連続の増収(過去最高)
営 業 費 用	3,352	3,457	104	103.1%	
営 業 利 益	75	90	14	119.7%	2期ぶりの増益
営 業 外 損 益	97	121	23	124.4%	
経 常 利 益	173	212	38	122.3%	2期ぶりの増益(過去最高)
特 別 損 益	△ 46	11	58	-	
当 期 純 利 益	60	115	55	191.2%	2期ぶりの増益

- ・ 出向者人件費差額について、従来営業外費用として表示しておりましたが、当期末より営業費用として表示しております。その影響により営業利益が41億円減少しております。なお、前年の数値も遡及して修正しております。

※ 連結の範囲

連結子会社 36 社(対前年度末 ± 0 社)、持分法適用関連会社 1 社(対前年度末 ± 0 社)

① 営業収益 3,548 億円 (対前年度比 119 億円 / 103.5 %)

- ・ 当社の鉄道旅客運輸収入及びマンション販売収入、建設系会社やドラッグストアの売上高の増などにより増収。

② 営業費用 3,457 億円 (対前年度比 104 億円 / 103.1 %)

- ・ 当社のマンション販売原価、建設系会社やドラッグストアの売上増に伴う原価の増などにより増加。

③ 営業利益 90 億円 (対前年度比 14 億円 / 119.7 %)

④ 営業外損益 121 億円 (対前年度比 23 億円 / 124.4 %)

- ・ 当社の経営安定基金運用収益の増などにより増加。

⑤ 経常利益 212 億円 (対前年度比 38 億円 / 122.3 %)

⑥ 特別損益 11 億円 (対前年度比 58 億円 / - %)

- ・ 前年度、当社で九州北部豪雨に係る災害損失を計上。

⑦ 当期純利益 115 億円 (対前年度比 55 億円 / 191.2 %)

(2)セグメントの状況

(単位:億円)

		期 末 決 算			
		H24年度	H25年度	増 減	前年度比
運輸 サービス	売 上 高	1,724	1,742	17	101.0%
	営 業 利 益	△ 154	△ 149	4	-
	経 常 利 益	△ 54	△ 28	26	-
建設	売 上 高	704	853	148	121.1%
	営 業 利 益	35	40	5	114.2%
	経 常 利 益	36	41	4	112.9%
駅ビル 不動産	売 上 高	478	498	19	104.2%
	営 業 利 益	159	167	7	104.8%
	経 常 利 益	159	167	7	104.9%
流通 外食	売 上 高	853	884	31	103.6%
	営 業 利 益	26	31	4	117.5%
	経 常 利 益	26	32	5	120.8%
その他	売 上 高	489	532	43	108.9%
	営 業 利 益	6	9	2	141.6%
	経 常 利 益	7	10	2	140.7%

(経常利益ベースでの比較)

① 運輸サービス 増 収 ・ 増 益

- ・ 売上高及び経常利益は、高速船運輸収入の減はあったものの、当社の鉄道旅客運輸収入や経営安定基金運用収益の増などにより増収・増益。

② 建設 増 収 ・ 増 益

- ・ 売上高及び経常利益は、マンション建設工事や北陸新幹線工事の増などにより増収・増益。

③ 駅ビル・不動産 増 収 ・ 増 益

- ・ 売上高及び経常利益は、当社のマンション販売収入や駅ビル賃料収入の増などにより増収・増益。

④ 流通・外食 増 収 ・ 増 益

- ・ 売上高及び経常利益は、ドラッグストアやコンビニ事業の売上高の増などにより増収・増益。

⑤ その他 増 収 ・ 増 益

- ・ 売上高及び経常利益は、建設資材収入やホテルの売上高の増などにより増収・増益。

(3)財政状態

① 資産の部 11,062 億円 (対前年度末比 664 億円 / 106.4 %)

- ・流動資産は、たな卸資産の増などにより135億円の増加。
- ・固定資産は、有形固定資産の取得による増加などにより462億円の増加。
- ・経営安定基金資産は、時価評価により66億円の増加。

② 負債の部 3,659 億円 (対前年度末比 559 億円 / 118.1 %)

- ・流動負債は、短期借入金や前受金の増などにより404億円の増加。
- ・固定負債は、長期借入金の増などにより154億円の増加。

③ 純資産の部 7,403 億円 (対前年度末比 104 億円 / 101.4 %)

- ・純資産は、当期純利益などにより104億円の増加。

(4)キャッシュ・フローの状況

(単位:億円)

	期 末 決 算			記 事
	H24年度	H25年度	増 減	
営業キャッシュ・フロー(Ⅰ)	446	396	△ 50	たな卸資産の増
投資キャッシュ・フロー(Ⅱ)	△ 445	△ 590	△ 145	固定資産の取得支出の増
財務キャッシュ・フロー(Ⅲ)	△ 9	221	230	借入金の増
増 減 (Ⅰ + Ⅱ + Ⅲ)	△ 7	26	33	
期 首 残 高	135	127	△ 7	
期 末 残 高	127	153	26	

(5)平成26年度通期の連結業績予想

(単位:億円)

	H25年度 実績	H26年度 業績予想	増減	前年度比
営 業 収 益	3,548	3,592	43	101.2%
(うち鉄道旅客運輸収入)	1,439	1,423	△ 16	98.8%
営 業 利 益	90	94	3	103.6%
経 常 利 益	212	189	△ 23	89.1%
当 期 純 利 益	115	106	△ 9	91.6%

- ・当社の運輸収入は減少するものの、マンション販売収入の増や、ドラッグストア、ホテルなどが増収を見込むため、営業利益ベースで増収増益。一方、経常利益は、経営安定基金運用収益の減少により減益。

2. 単体決算

(1) 経営成績

- ・ 4期連続の増収。全ての利益で増益。

(単位:億円)

	期 末 決 算				記 事
	H24年度	H25年度	増 減	前年度比	
営 業 収 益	1,930	1,961	31	101.6%	4期連続増収(過去最高)
(うち鉄道旅客運輸収入)	1,412	1,439	27	102.0%	
営 業 費 用	1,959	1,980	20	101.1%	
営 業 利 益	△ 29	△ 19	10	—	2期ぶりの増益
営 業 外 損 益	105	135	29	128.3%	
経 常 利 益	75	116	40	153.1%	2期ぶりの増益
特 別 損 益	△ 41	7	48	—	
当 期 純 利 益	20	72	51	351.5%	2期ぶりの増益

- ・ 出向者人件費差額について、従来営業外費用として表示しておりましたが、当期末より営業費用として表示しております。その影響により営業利益が41億円減少しております。なお、前年の数値も遡及して修正しております。

① 営業収益 1,961 億円 (対前年度比 31 億円 / 101.6 %)

- ・ 鉄道旅客運輸収入の増やマンション販売収入の増などにより増収。

② 営業費用 1,980 億円 (対前年度比 20 億円 / 101.1 %)

- ・ 動力費の増やマンション販売原価の増などにより増加。

③ 営業利益 △ 19 億円 (対前年度比 10 億円 / — %)

④ 営業外損益 135 億円 (対前年度比 29 億円 / 128.3 %)

- ・ 経営安定基金運用収益の増や子会社からの受取配当金などが増加。

⑤ 経常利益 116 億円 (対前年度比 40 億円 / 153.1 %)

⑥ 特別損益 7 億円 (対前年度比 48 億円 / — %)

- ・ 前年度、九州北部豪雨に係る災害損失を計上。

⑦ 当期純利益 72 億円 (対前年度比 51 億円 / 351.5 %)

(2) 財政状態

① 資産の部 10,157 億円 (対前年度末比 583 億円 / 106.1 %)

- ・ 流動資産は、未成工事支出金の増などにより86億円の増加。
- ・ 固定資産は、関連事業固定資産の増加などにより430億円の増加。
- ・ 経営安定基金資産は、時価評価により66億円の増加。

② 負債の部 3,032 億円 (対前年度末比 468 億円 / 118.3 %)

- ・ 流動負債は、前受金の増や未払金の増などにより382億円の増加。
- ・ 固定負債は、長期借入金 of 増などにより85億円の増加。

③ 純資産の部 7,125 億円 (対前年度末比 115 億円 / 101.6 %)

- ・ 純資産は、経営安定基金評価差額金及び当期純利益により115億円の増加。

(3) 平成26年度通期の単体業績予想

(単位: 億円)

	H25年度 実績	H26年度 業績予想	増 減	前年度比
営 業 収 益	1,961	1,979	17	100.9%
(うち鉄道旅客運輸収入)	1,439	1,423	△ 16	98.8%
営 業 利 益	△ 19	7	26	—
経 常 利 益	116	112	△ 4	96.4%
当 期 純 利 益	72	75	2	103.7%

- ・ 運輸収入は減少するものの不動産賃貸収入やマンション販売収入の増などにより、営業利益ベースで増収増益。一方、経常利益は、経営安定基金運用収益の減少により減益。

(4) 鉄道旅客運輸収入及び輸送量の対前年比較

(単位: 百万円、百万人キロ)

			期 末 決 算			
			H24年度	H25年度	増 減	前年度比
新幹線	定 期	収 入	2,347	2,469	121	105.2%
		人キロ	176	186	9	105.7%
	定期外	収 入	45,949	46,464	514	101.1%
		人キロ	1,605	1,639	33	102.1%
	計	収 入	48,296	48,933	636	101.3%
		人キロ	1,782	1,825	43	102.4%
在来線	定 期	収 入	29,116	29,628	512	101.8%
		人キロ	3,943	4,069	126	103.2%
	定期外	収 入	63,793	65,428	1,635	102.6%
		人キロ	3,198	3,287	89	102.8%
	計	収 入	92,909	95,057	2,147	102.3%
		人キロ	7,141	7,357	215	103.0%
新在計	定 期	収 入	31,463	32,097	634	102.0%
		人キロ	4,119	4,256	136	103.3%
	定期外	収 入	109,743	111,893	2,149	102.0%
		人キロ	4,804	4,926	122	102.6%
	計 (荷物含む)	収 入	141,206	143,990	2,783	102.0%
		人キロ	8,924	9,182	258	102.9%

(単位: 千人)

輸送人員 (全 社)	定 期	203,724	211,005	7,281	103.6%
	定期外	110,398	112,778	2,380	102.2%
	計	314,122	323,783	9,661	103.1%
輸送人員 (新幹線再掲)	定 期	2,282	2,422	140	106.1%
	定期外	9,811	10,157	346	103.5%
	計	12,093	12,579	486	104.0%

(5)平成25年度 旅客営業成績 駅取扱収入ベスト20

H25 順位	前年 比較		駅 名	年間成績 (百万円)	対前年比 (%)	一日平均 (千円)
1	1	➡	博 多	27,801	103.9	76,168
2	2	➡	鹿 児 島 中 央	12,109	102.7	33,175
3	3	➡	熊 本	9,198	105.2	25,201
4	4	➡	小 倉	7,631	101.6	20,908
5	5	➡	大 分	5,049	104.4	13,834
6	6	➡	長 崎	3,807	103.0	10,431
7	7	➡	佐 賀	3,657	102.3	10,021
8	8	➡	久 留 米	3,307	104.5	9,060
9	9	➡	折 尾	2,630	100.8	7,207
10	10	➡	黒 崎	2,607	103.4	7,143
11	11	➡	川 内	2,439	104.5	6,684
12	12	➡	中 津	2,005	101.6	5,493
13	13	➡	佐 世 保	1,925	101.0	5,274
14	14	➡	宮 崎	1,888	101.7	5,174
15	15	➡	赤 間	1,872	103.5	5,129
16	16	➡	行 橋	1,810	104.1	4,959
17	17	➡	別 府	1,776	102.6	4,867
18	18	➡	諫 早	1,749	101.4	4,794
19	19	➡	新 八 代	1,720	101.6	4,712
20	20	➡	出 水	1,689	100.9	4,628

記載金額につきましては、表示単位未満の端数を切り捨てて表示しております。ただし、金額以外の数字につきましては、表示単位未満を四捨五入して表示しております。